

目標7 生涯にわたる男女の健康支援

《目指すまちな姿》
 男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【1】 男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透
------	--------------------------

施策の内容	発達段階に応じて、児童、生徒が性に関する正しい知識と、自ら考え判断する能力を身につけられるよう、人権尊重の精神に基づく性教育を推進します。
-------	---

107		数値目標						目標値
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	
H30事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 各校の年間計画に基づき、様々な教科や学級活動と関連づけ教育活動全体を通して性教育を実施する。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 各校の年間計画の中に、様々な教科や学級活動と関連付けた性教育を必ず位置付ける。 							
H30事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各校の年間計画の中に、性教育を位置付け、様々な教科や学級活動と関連付けて指導した。 							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて性教育を実施することにより、男女の性をともに理解・尊重する意識を育成することにつながった。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 性教育を実施することで、理解は高まってきたが、L B G Tなどの新しい課題について対応する必要がある。 							

目標7 生涯にわたる男女の健康支援

《目指すまちの姿》

男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【1】 男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透
------	--------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
学校教育課長	B⇒ B	年間計画の中に性教育を位置づけ、複数の教科を関連付けた指導を行った。さらに、男女の性差による偏見をなくせるように服装など身の周りのことから少しずつ考えを変えていく、取組を増やすことができた。LGBTの指導を今後どのように進めていくかを考えていくきっかけになった。次年度は、研修を行ったり、教材化したりしていく。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
C	目標2【1】【2】と同様であるが、学校現場の取り組みを記載するのではなく、環境整備や支援について、課として何をするのかを具体的に記載することを望む。「性教育」は、一人ひとりの生命を尊び育む教育。LGBTについても、積極的な情報提供に努めることを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標7 生涯にわたる男女の健康支援

《目指すまちの姿》
 男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【2】 男女の心とからだの健康保持・増進対策の推進
------	---------------------------

施策の内容	男女が、ライフステージに応じて主体的に健康づくりに取り組むための支援を行います。
-------	--

108		数値目標						目標値
担当課	健康課		現状値	H29	H30	H31	H32	
H30事業計画	コミュニティと連携した健康づくりの啓発活動と事業の実施。 ・コミュニティや地区組織に、健幸の日・健幸10か条（1，4，6か条）の普及啓発。 男女の様々な不安やストレスを軽減させるための相談事業の実施。 ・商工会議所で、健康意識の向上に向けた講座を開催。							
H30事業計画に関する具体的な目標	・コミュニティ誌、広報丸亀、健康だより等に「健幸の日」、「健幸10か条」の掲載を行う。 ・商工会議所で、健康管理に関する講座の開催（年1回以上）。							
H30事業実績	・健康の日・健康10か条の啓発のため、地区のコミュニティ誌や、広報等で紹介し、健康づくりのきっかけづくりを行った。 （コミュニティ誌 11地区、広報まるがめ 12回、健康だより3回） ・健康講座の開催はできなかったが、働く世代の抱える健康課題を掲載した啓発チラシを作成し、商工会議所の会員に配布するなど、健診の重要性を伝え、本人及び家族の健康づくりに取り組んだ。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	健幸の日、健幸10か条について、少しずつではあるが認知度が上がっている。（健幸の日を知っていると答えた人：60.6%）							
事業の実施状況を踏まえた課題	引き続き、各世代で認知度があがり、健康意識が高まるよう継続的な周知・啓発が必要である。							

目標7 生涯にわたる男女の健康支援

《目指すまちの姿》

男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【2】 男女の心とからだの健康保持・増進対策の推進
------	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
健康課長	B⇒ B	男女が、ライフステージに応じて、主体的に健康づくりに取り組むためのきっかけとなるように「毎月10日は健幸の日と健幸10か条」制定し、その周知啓発を行うことと、がん検診などの受診促進については、市民や関係機関と協働しながら、あらゆる機会を通して実施している。今後も男女が共に健康な生活を送れるように、啓発活動を続けていく必要がある。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	保健師が地域に出向き、「健幸」のため、意欲的に取り組んでいることを評価する。ネット依存など新しい健康課題へも他課と連携して対応することを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標7 生涯にわたる男女の健康支援

《目指すまちの姿》
 男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【3】	女性の生涯にわたる健康保持・増進対策の推進
-------------	------------	------------------------------

施策の内容	思春期から更年期まで、生涯を通じて大きく変化する女性の健康について女性自身が的確に自己管理できるよう支援します。
--------------	--

110		数値目標						目標値
担当課	健康課		現状値	H29	H30	H31	H32	
H30事業計画	女性の健康に関する正しい知識の普及・啓発。 ・学校の養護教諭との連絡会等で、学校保健との連携を図る。 ・企業と連携し、女性の健康づくりに取り組む。							
H30事業計画に関する具体的な目標	・小中学校の養護教諭と年に1回情報共有の機会をもち、連携していく。 ・大塚製薬株式会社と女性の健康づくりの啓発に取り組んでいく。							
H30事業実績	<養護教諭との連携について> ・養護教諭連絡会に出席し、健康課の取り組みや働き盛りの方の受診結果について情報提供を行った。 ・地区担当保健師が各小学校へ行き小学校での取り組みを聞かせていただいたり、健康課からは地区の健康状況について報告させていただくなど、地域の健康状況について情報共有を図った。 <大塚製薬と女性の健康づくりについての取り組み> ・大塚製薬と健康づくりの協定を締結したことから、地域のリーダーである母子保健推進員に対し、地域での健康づくりや女性活躍社会の推進のために、本社工場見学とともに、大塚製薬の講師による「女性の健康づくり」についての研修を行った。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・小学校での生活習慣病に関する取り組みについて知ることができた。また、働く世代の現状、健康課題について、伝えることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・小学校へ出向いて、取り組みの情報共有を実施しているが、健康課題を踏まえた、保護者にむけた取り組みまでにはいたっていない。今後、学校との連携を深め、地域でできることを実施していきたい。							

施策の内容	地域において安心して安全に子どもを産み育てることができるよう、妊娠、出産、子育てにわたり切れ目なく支援を行います。							
111		数値目標						
担当課	健康課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健推進員、愛育班等と連携し、「乳幼児期からのお口のマッサージ」の普及啓発に取り組む。 妊娠・出産・子育て期における相談体制を充実させる。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 乳児全戸訪問の実施 助産師・保育士等の他職種や地区組織と連携しながら事業を展開する。 							
H30事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乳児訪問(訪問率 95.3%) 助産師(臨時職員)を雇用し、訪問や相談の充実を図った お口のマッサージの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> 各地区のウェルカム広場にて実施 (年 69回 参加人数 2,090人) 保育所・幼稚園にて実施 (年 6回 参加人数 455人) 健康フェスタにて実施 (年 1回 参加人数 140人) 3か月健診時チラシ回覧 (年 36回 参加人数 831人) 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 乳児全戸訪問を実施し、出産後早期に母親やその家族の育児不安を軽減し、子どもの成長発達を確認することができた。 各事業を活用し母子保健推進員とともに「お口のマッサージを」普及啓発することができた。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	「お口のマッサージ」については、普及啓発を行ってきたが対象者をどうやって増やしていくのが課題。							

目標7 生涯にわたる男女の健康支援

《目指すまちの姿》

男女がお互いの身体的性差を十分に理解し合い、ライフステージに応じて心とからだの健康が保持・増進されています。特に女性は生涯を通じて男性とは異なる健康上の変化や問題に直面することについて、女性自身が正しく認識・対応し、健康な生活を送っています。

施策番号	【3】 女性の生涯にわたる健康保持・増進対策の推進
------	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
健康課長	B⇒ B	女性の健康に関する正しい知識の普及・啓発に向け、養護教諭等と連携し情報共有を図ることで学校現場も含めた、地域の子育て支援に積極的に取り組んだ。 また、企業との連携においても、女性の健康づくりに視点をおく取り組みをおこなったことで、女性自身の健康保持増進に成果があったと考える。今後も積極的に取り組んでいく必要がある。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	養護教諭との情報交換など、現状を把握し支援のあり方を検討する姿勢を評価する。一人ひとりの健康課題に寄り添うきめ細かな支援の継続を望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。